



畑野町の人口 (1月1日調べ)
人口 1750人 男 885人
女 865人
世帯数 959世帯

はたの

コロナ感染防止対策が緩和されました

新型コロナウイルス感染症対策に係る催し(イベント等)の開催要件について、令和五年一月二十七日以降は、収容率の上限が「大声での歓声等の有無を問わず、全て百パーセントまで」となりました。また、マスクの着用についても、公共の場所や病院など、マスク着用を要請されている場合を除いては、本人の判断で着用しなくてもよいこととなりました。
立春を過ぎて、これからは日ごとに春の訪れを感じながら外出する機会も増えてくると思いますが、ウイズコロナの生活にも慣れて過ごしていきましょう。

「育親学園」のコンセプトが決定

新たに開学する育親学園がどのような学校を目指すべきか(学校コンセプト)について、児童生徒・教職員・保護者・地域住民などの想いを考慮して、育親学園コンセプト検討グループで議論を重ねてきました。

結果、地域やふるさとを意味する『郷(きょう)』、人とのつながりややさしさを意味する『親(しん)』、チャレンジや自己創出を意味する『創(そう)』、自ら育つことやみんなで育つことを意味する『育(いく)』の四文字をコンセプトの核とし『ふるさとをいくつしむ豊かな心と未来を創造する力を組む学園』を新たな学校コンセプトとすることに決定しました。この学校コンセプトには子どもたちが地域とともにあることで豊かな心を育むとともに、自立した一人の人間として力強く生き、社会を構成していく力(人間力)を育める学校であって欲しいという思いが込められています。



「育親学園」の校章のデザインを募集

来月四月に開学する「育親学園」の校章デザインを広く一般募集しています。

◆校章デザインの基本的な考え方

新たな学校のシンボルとして、コンセプトが表現され、未来に愛され親しまれる校章であること

○育親学園のコンセプト

『ふるさとをいくつしむ豊かな心と

未来を創造する力を育む学園』

『郷』・『親』・『創』・『育』

○学校教育目標

『ふるさとに誇りを持ち 心豊かに

未来を創造する 児童生徒の育成』

○大きさが変わっても見やすいなど汎用性が高く利用しやすいデザインであること

○使用する色は4色程度として、グラデーションは使用しないものであること

○単色で表現してもイメージや安定感が損なわれないものであること

○意匠権、商標権、著作権等の権利を害しないものであること

◆応募資格

次のいずれかに該当する人ならどなたでも応募できます

○亀岡市内に在住している人

○亀岡市内に通学・通勤している人

○亀岡市の出身である人

◆応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入の上、亀岡市教育委員会教育総務課まで提出(持参、郵送、電子メール)してください

◆応募期間

令和五年二月二十八日(火)まで

※問い合わせは、亀岡市教育委員会まで

西部同推協の人権研修会を開催します

既に組回覧でご案内していますが、西部地区同和教育推進協議会の人権研修会を二月二十五日(土)に開催します。

「人権」というと、何かと難しくと捉えがちですが、貧困や格差の拡大に伴う問題や社会的に弱い立場に置かれた高齢者や子ども、障害のある人への虐待や差別が大きな社会問題として取り上げられています。また、SNSを悪用した犯罪や人権侵害などの事例も多く発生しています。一年に一度の研修会です。各組織の代表の方には個別に案内もさせていただきます。各組織の代表が、町民の皆さま多数の参加をお待ちしております。

○開催日時 二月二十五日(土)
午後一時三十分から三時頃まで

(受付 午後一時から)

○開催場所 京都・畑野 多目的ホール

○対象者 どなたでも参加できます

○研修内容 講演

講師 松村智広(みえ人権教育研究会代表)

演題 『へこたれへんく人はきつとつながれる』

家庭ごみの分別区分が拡大されます

四月から家庭用ごみの分別区分が、燃やすごみ・埋め立てごみともに細分化されます。詳しくは、亀岡市の広報紙やごみステーションの掲示を確認してください。

今後の行事予定

- 二月二十五日(土) 西部同推協・合同人権研修会
- 二月二十六日(日) 消防団 非常招集訓練
- 三月 四日(土) 家庭ごみ分別の地元説明会
- 三月 四日(土) 自治会常任委員会議
- 三月十三日(月) 育親中学校卒業証書授与式
- 三月二十三日(木) 畑野小学校卒業証書授与式
- 三月二十五日(土) 本梅こども園卒園式